

エリア入口部での狭さく設置



積雪を考慮してデバイスを選定



10.新潟県阿賀野市 (緑町地区)

写真提供: 阿賀野市

広域図



背景の地図の出典: 国土地理院

| | |
|-------|---|
| 登録状況 | 生活道路対策エリア(区域) |
| 対策の内容 | 狭さく設置 他 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 病院、診療所、保育園、介護施設などがあり、歩行者の通行が多い ➤ 水原駅への送迎車両による抜け道利用が多い ➤ ビッグデータを用いて速度の高い車両が多い区間を特定 |

設置の
特徴

エリア入口部での狭さく設置

狭さくの概要

設置箇所



背景の地図の出典: 国土地理院

設置内容

| | 内容 | 備考 |
|--------------|--|--|
| 設置箇所数 | 2箇所 | <ul style="list-style-type: none"> 両側狭さく 1箇所 片側狭さく 1箇所 |
| 設置時期 | 2017年9月 | |
| 狭さくの形状 | <ul style="list-style-type: none"> 狭小部の幅員 3m(両側狭さく) 狭小部の幅員 4m(片側狭さく) | 技術基準を参考 |
| 構造及び 付属施設 | <ul style="list-style-type: none"> ゴム製ポール 路面表示「幅員減少」 グリーンベルト 自発光鋏 | ゴム製ポール H=80cm |
| 技術的な工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ◆生活道路内の車両の速度抑制を図るため、エリア入口部に狭さくを設置 ◆夜間の視認性に配慮し、ゴム製ポールは部材全体で反射性が高いものとし、ポール基部に自発光鋏を設置 ◆狭さくの長さは、沿道家屋の乗り入れ等に影響を与えないよう、官地の前面におさまるよう形状を調整 ◆地元や警察との協議にて、混雑時に車列のできる可能性がある箇所では、すれ違いが可能になる幅員(狭小部 4m)とした。 ◆通行に支障をきたさないため、消雪パイプと併せて運用 | |

設置状況

両側狭さく



概観

写真提供: 阿賀野市

片側狭さく



概観

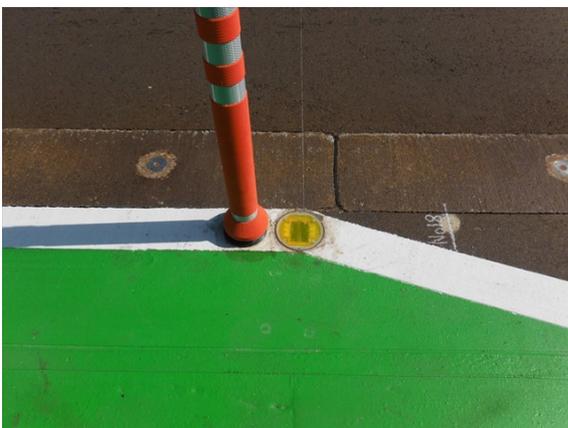
写真提供: 阿賀野市



通行状況



入口部での狭さく設置



ゴム製ポール及び自発光鋌

写真提供: 阿賀野市



通行状況

合意形成
のポイント

積雪を考慮してデバイスを選定

対策実施状況と合意形成の概要

対策実施状況 (道路管理者の動き)

合意形成の概要

生活道路対策エリア登録(2016.3)



設置 (2017.10～)

- 両側狭さく1箇所
- 片側狭さく1箇所 他

2016.8 関係者打合せ

- ETC2.0 プローブデータによる交通分析結果



散水消雪の路線で、近年の積雪深も30cm程度であり、特別な管理を要せず視認性が確保できることから狭さくを選定

2016.10 対策推進会議

- 対策箇所及び内容



対策推進会議を組織して、迅速に対策案を作成

2016.11 地元説明

- 対策箇所及び内容

2016.12 現地立会

- 対策箇所及び内容

2017.2 地元説明会

- 再検討による対策案の説明



現地で関係者が一緒に詳細な形状を決定

PDCA の中での合意形成の内容とポイント

| 段階 | 説明手法・内容 | 道路管理者の考える合意形成のポイント  |
|------------------------|---|---|
| 現況調査 計画策定 <Plan> | <ul style="list-style-type: none"> ❖ 関係者打合せ 実施日 2016年8月 参加者 阿賀野市、阿賀野警察署、国土交通省 提示資料 ETC2.0 プローブデータによる交通分析結果(国交省)、ゾーン 30 整備について(阿賀野警察署) ❖ 対策推進会議 (阿賀野市生活道路対策推進会議) 実施日 2016年10月 参加者 関連地区自治会長、小学校、保育園、阿賀野警察署、阿賀野市(総務課、教育委員会、建設課)、国土交通省 提示資料 対策箇所及び内容 ❖ 地元説明会 実施日 2016年11月 参加者 自治会 提示資料 対策箇所及び内容 ❖ 現地立会 実施日 2016年12月 参加者 地先住民 提示資料 対策箇所及び内容 ❖ 地元説明会 実施日 2017年2月 参加者 自治会 提示資料 再検討による対策箇所及び内容 | <ul style="list-style-type: none"> • 散水消雪の路線で、近年の積雪深も 30cm 程度であり、特別な管理を要せず視認性が確保できることから狭さを選定 • 対策推進会議を組織して、迅速に対策案を作成 • 狭さく設置箇所については、地元説明会を開催し、了解を得ることを条件に対策内容を合意。検討の大枠は短期間で合意 • 現地で狭さくの設置位置をチョークで示すなどして関係者と一緒に具体的な形状をイメージ |
| 対策実施 <Do> | <ul style="list-style-type: none"> ❖ 本設置 運用開始 2017年10月 | |
| 評価 <Check> | 今後、ETC2.0 プローブデータ等のビッグデータにより効果検証を予定 | |
| 対策改善 <Action> | | |

合意形成における道路管理者からみた特筆事項

| | |
|------------------|---|
| 円滑な検討に 結びついた点 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 狭さく設置箇所、様々な意見が出されたが、その都度計画の見直しを行い、地先住民との現地確認を重ね粘り強く着地点を探した。 |
| 考えられる 今後の工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 詳細の形状や箇所を地元説明で決定することとしたため、最後は行政と各住民とのやりとりになってしまった。 ◆ 詳細の形状についても、地域で意見交換しながら検討する進め方にできればよかった。 |